

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：2024年 3月

事業所名 リーぷりんぐ

保護者等数(児童数) 12 回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1			・運動療育のプログラムも行うのであれば、少しせまいのかなと思う。 ・いつも1階で活動していて、時々2階へ行けるのが嬉しいようです。	広さに合わせた運動プログラムを行っております。安全については配慮しておりますのでご安心頂ければと思います。リーぷりんぐは指定基準の倍以上の広さを有しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1	1	1	重度知的障害への対応に慣れていない、経験が少ないと感じる。	リーぷりんぐの職員の内80%以上が有資格者、資格なしの者については強度行動障害基礎研修やその他研修を実施しております。またABA療育支援員に認定された職員がおり、日々計画と振り返りを行いながら個別に合わせた療育を行っております。療育内容について、また改めてわかりやすい形で皆様にお届けできるようにいたします。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9		1		重度知的障害児には視覚的にわかりにくい環境だと思う。	必要な視覚支援は取り入れておりますが、一戸建てという構造上トイレや手洗い場への動線等にわかりづらさがあつたため、動線に足跡シールを貼るなどで対応させて頂きました。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9		1		・共用のタオルは衛生的にあまりよくないのではと思う。 ・面談等でお伺いすると、いつも整頓されている印象です。落ち着ける場所でもあり安心できるようです。	ご自宅での汎化を目的に、一戸建ての強みを活かして手洗い場には吊り下げ型のタオルを配置しております。毎回拭く面を変えたり、間に合わない場合に備えペーパータオルも合わせて備えております。リーぷりんぐでは今までコロナやインフルエンザのクラスターは発生しておりません。衛生面においては十分配慮しておりますのでご安心ください。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	9	1				
	6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1				ガイドラインに沿った個別支援計画を策定しております。ご不明点につきましてはお問合せください。
	7 個別支援計画に沿った支援が行われているか	10				支援が必要な課題を適宜取り入れて下さり、良い経験の場を作っております。	個別支援計画に沿った支援を行い、半年毎にモニタリング評価を行っております。ご不明点につきましてはお問合せください。
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	9	1			毎月色々なプログラムを取り入れてくださっています。	職員全体からアイデアを出し、活動プログラムの領域が固定化されないよう配慮しております。毎日違うジャンルのプログラムに触れて頂くことで様々な経験を積んで頂く、自己理解につなげることが目的です。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4		3		それぞれ役割があり、集団で交流することは難しいですがお子様の中には併用されている方が多く、個々としては交流活動できていると認識しております。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10						
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10						

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	5	2	3	心配事にはアドバイスしてもらえることが支えになっています。	保護者様からの困りごとなどに対して、可能な限り早くフィードバックして保護者対応力の向上を目指し支援しております。今後は計画的にペアレントトレーニングを行っていく予定です。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	8	1	1	家庭での子どもの様子、問題行動をスタッフが把握していない。	送迎時にお会いできる保護者様には適宜状況をお伺いさせて頂いております。また、普段より公式LINE等でご相談を頂ける場合、なるべく早くお返しをしてやり取りする中で把握させて頂いております。送迎時に保護者様とお会いできない場合、または片方の保護者様のみとしかお会いできる機会がない場合等、どのように情報をご共有頂くかが課題です。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9			1	半年に一度の個別面談以外にも、事業所内相談支援や家庭連携支援を行い面談を行っております。契約時にご案内をさせて頂いております。ご希望頂ける場合はお問合せください。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	1	4	感覚統合講座等を開催し、保護者様をご招待し交流をはかっていただくことはございます。次年度より計画的にペアレントトレーニングを行っていく予定です。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10				園側とも連携頂き、ありがとうございます。	園や学校との連携ができるとお子様にとって安心できる場面が増えると思っております。今後も行っていきたい活動です。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8		1	1	連絡は頂けるが、スタッフから家庭での状況を尋ねる、問題点をケアに繋げるということがない。	お子様とは言葉でのコミュニケーションが難しい場合にはPECSなどのご提案をしております。保護者様のニーズをとらえきることができず大変申し訳ございません。今後の支援や共有方法に繋げてまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	2		2	いつも丁寧にレポートして頂きありがとうございます。夫ともシェアし読ませて頂いています。	毎月活動概要、予定表を発行しております。個人情報保護のため、活動写真については個人のもを保護者様向けに不定期にお送りしております。連絡体制は電話、メールのほか公式LINEを使用し、気軽にご連絡頂ける仕組みを作っております。自己評価の公表につきましてはホームページにて行っております。また活動はInstagramにおいても発信しております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7			3		マニュアルを事務所に整備しております。また適宜研修や訓練を行い記録しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			5		定期的に訓練を行っております。連絡帳にて様子をお伝えしております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9			1	・幼稚園と違い、少人数での支援と、異年齢の子と過ごせることも良い刺激になっているようです。 ・入所してから2年たちますが、毎回通うのをとても楽しみにしています。その日の出来事やお友達の話を楽しそうに話しています。	わからない、のは私どもの力不足を感じております。どんなお子様でも楽しんで通所して頂けるのが一番ですので、安心して通って頂ける場所でありたいと思います。環境やプログラムについて日々精査しながら取り組んでまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	9	1			支援を受け始めてから成長した部分が多く、親子共々支えて頂き感謝しています。	ご縁あってお越し頂いている皆様にご満足いただける支援を行えるよう、日々振り返りを行いながら進めてまいります。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。